

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月6日

上場会社名 株式会社朝日ネット 上場取引所 東  
 コード番号 3834 URL <https://asahi-net.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土方 次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 小松 大 (TEL) 03-3541-8311  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,612	5.3	1,146	26.5	1,185	29.8	815	15.4
2019年3月期第3四半期	7,231	4.4	906	70.1	913	69.2	706	83.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	28.92	—
2019年3月期第3四半期	23.88	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,797	9,439	87.4
2019年3月期	11,593	10,118	87.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,439百万円 2019年3月期 10,118百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2020年3月期	—	9.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	7.8	1,600	26.1	1,600	25.3	1,120	17.6	39.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	32,000,000株	2019年3月期	32,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	4,140,579株	2019年3月期	2,394,579株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	28,198,821株	2019年3月期3Q	29,595,821株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 業界の動向

ISP(インターネット・サービス・プロバイダ)業界においては2019年9月末のFTTH(光ファイバー)の利用者数は前年同期比128万契約増(4.1%増)の3,234万契約となり一貫して増加しております。次世代移動通信5Gの基地局整備に伴う光ファイバー敷設の推進などにより、今後も利用者数の伸びは増加すると考えております。

MVNOサービスの利用者数は前年同期比300万契約増(15.0%増)の2,298万契約となりました。そのうち高速モバイル通信やIoT(Internet of Things)/M2M(Machine to Machine)に利用されるSIMカード型の契約者数は前年同期比247万契約増(20.9%増)の1,428万契約と増加しております。

#### インターネット接続サービスの状況

インターネット接続サービス「ASAHIネット」においては、引き続き法人顧客の需要が増加しております。「キャッシュレス・消費者還元事業」に連動してインターネット接続環境の設備投資を行う店舗の増加、訪日外国人へのインバウンド施策としてWi-Fi環境を設置する宿泊施設や飲食店等の店舗の増加、IoT/M2Mの進展によりインターネット接続環境導入が堅調に推移しております。

会員獲得施策については、従来からのWebチャネルを活用した施策は堅調に推移しております。更に販売代理店を活用した対面チャネルやテレマーケティングの販路を拡大する事により「ASAHIネット」の会員増加に取り組んでおります。

サービスでは光コラボレーションモデルを活用した「AsahiNet 光」、マンション全体での一括契約サービス「ASAHIネット マンション全戸加入プラン」等のFTTH(光接続)サービス、「ASAHIネット WiMAX 2+」やASAHIネットLTE「ANSIM」のモバイルサービスの会員数が引き続き増加しております。

その結果、2019年12月末の「ASAHIネット」会員数は前年同期末比4千ID増(0.6%増)の617千IDとなりました。また2019年12月25日に発表された利用者満足度の高いインターネット通信サービスを選出する「RBB TODAY ブロードバンドアワード2019」において「ASAHIネット」が「プロバイダ部門 総合満足度1位」を獲得しました。同賞の受賞は6年連続、通算9回目の受賞となります。

「v6 コネクト」については当第3四半期より新たな電気通信事業者への提供を開始しました。「v6 コネクト」の売上高は回線数および回線あたり通信量の増加により堅調に推移をしております。今後は通信量の更なる増加に向けてDS-Lite方式によるIPv4 over IPv6接続機能のサービス拡充を進めており、2020年度の提供を目指します。

#### 教育支援サービスの状況

教育支援サービス「manaba(マナバ)」の2019年12月末の契約ID数は前年同期末比34千ID増(5.3%増)の678千IDとなりました。全学導入校数は前年同期末比4校増(4.5%増)の92校となりました。

当第3四半期は新たに明治学院大学と契約締結しました。また、導入校に対する活用促進の施策として「manaba ユーザ会」を開催しました。東京の東洋大学、京都の龍谷大学で開催し、約50校の教職員に参加いただきました。

「教育改革×manaba」をテーマに「manaba」を活用したオンデマンド授業や学生の学修時間の確保についての講演やサービス運用上の課題についての情報交換、学生の学修空間であるラーニングコモンズなど学内施設見学を行いました。

#### 収益の状況

FTTHサービス、モバイルサービスの会員数増加、「v6 コネクト」の新規契約社数の増加と帯域幅課金の既存契約によるトラフィック量増加により売上高、営業利益共に増加しております。2020年3月期の事業計画に対してはほぼ計画通りに進捗しており、業績予想の変更はございません。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,612百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は1,146百万円(同26.5%増)、経常利益は1,185百万円(同29.8%増)、四半期純利益は815百万円(同15.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産合計は7,881百万円(前事業年度末比1,111百万円減)となりました。また、固定資産合計は2,915百万円(同314百万円増)となりました。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の資産合計は10,797百万円(同796百万円減)となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債合計は1,356百万円(同117百万円減)となりました。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の負債合計は1,357百万円(同117百万円減)となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は9,439百万円(同679百万円減)となりました。

以上の結果、自己資本比率は87.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月9日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,010	2,427
売掛金	1,622	1,726
有価証券	2,200	3,400
貯蔵品	70	204
その他	110	149
貸倒引当金	△21	△27
流動資産合計	8,992	7,881
固定資産		
有形固定資産	1,090	1,235
無形固定資産	359	441
投資その他の資産	1,151	1,238
固定資産合計	2,601	2,915
資産合計	11,593	10,797
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	520	537
未払金	477	473
未払法人税等	374	145
その他	101	200
流動負債合計	1,474	1,356
固定負債	1	1
負債合計	1,475	1,357
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	630	630
資本剰余金	783	794
利益剰余金	9,545	9,843
自己株式	△1,017	△2,075
株主資本合計	9,940	9,193
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	177	246
評価・換算差額等合計	177	246
純資産合計	10,118	9,439
負債純資産合計	11,593	10,797

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,231	7,612
売上原価	5,053	5,051
売上総利益	2,177	2,561
販売費及び一般管理費	1,270	1,414
営業利益	906	1,146
営業外収益		
受取配当金	2	36
不動産賃貸料	3	3
その他	1	1
営業外収益合計	7	40
営業外費用		
自己株式取得費用	—	1
不動産賃貸費用	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	913	1,185
特別利益		
投資有価証券売却益	115	—
特別利益合計	115	—
特別損失		
固定資産除却損	5	6
特別損失合計	5	6
税引前四半期純利益	1,022	1,178
法人税等	316	362
四半期純利益	706	815

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,800,000株の取得を行いました。また、2019年6月26日開催の取締役会の決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式56,000株の処分を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が1,057百万円増加しております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。